

2006年(平成18年)8月28日(月曜日)

村上、女子10連覇

オロロイアスロン 男子は浜野初V



今年で最後となった第20回日本海オロヨンライントライアスロン・国際大会兼第9回道選手権実行委、北海道新聞社など主催が27日、留萌市内9市町村の総距離244km。7kmのコースで行われ、男子は浜野路弘樹岡が9時間26分7秒で昨年まで3連覇のスチュアートを凌駕した。ゴルフ後9度と並んでいた。

●仲間や家族のおかげで、国内最長距離。7kmのコースで行われ、男子は浜野路弘樹岡が9時間26分7秒で昨年まで3連覇のスチュアートを凌駕した。ゴルフ後9度と並んでいた。

●仲間や家族のおかげで、9時間26分7秒で昨年まで3連覇のスチュアートを凌駕した。ゴルフ後9度と並んでいた。

●仲間や家族のおかげで、9時間26分7秒で昨年まで3連覇のスチュアートを凌駕した。ゴルフ後9度と並んでいた。

●仲間や家族のおかげで、9時間26分7秒で昨年まで3連覇のスチュアートを凌駕した。ゴルフ後9度と並んでいた。

●仲間や家族のおかげで、9時間26分7秒で昨年まで3連覇のスチュアートを凌駕した。ゴルフ後9度と並んでいた。

●仲間や家族のおかげで、9時間26分7秒で昨年まで3連覇のスチュアートを凌駕した。ゴルフ後9度と並んでいた。

●仲間や家族のおかげで、9時間26分7秒で昨年まで3連覇のスチュアートを凌駕した。ゴルフ後9度と並んでいた。

●仲間や家族のおかげで、9時間26分7秒で昨年まで3連覇のスチュアートを凌駕した。ゴルフ後9度と並んでいた。

●仲間や家族のおかげで、9時間26分7秒で昨年まで3連覇のスチュアートを凌駕した。ゴルフ後9度と並んでいた。



④(中央)からシャンパンをかけられ祝福される村上(右)リードを守り切り初優勝を果たした浜野(左)。⑤仲間からシャンパンをかけられ祝福される村上(右)リードを守り切り初優勝を果たした浜野(左)

男子は浜野初V

今年数学が重いのしかか

ついていた。支えてくれた

仲間や家族のおかげ」と感

謝した。男子と呉らせ

た絵で最も高い4

位。男子の優勝タイムが

前年を約20分下回

が、自身は昨年よりも3

分以上早くゴールした。

「体調は良く、良い走

りができた」と喜び今

一番つながった

が勝因」と喜んだ。

10時間22分55秒(7回復

元)1時間15分30秒(8回

元)1時間12分55秒(9回

元)1時間11分30秒(10回

元)1時間10分30秒(11回

元)1時間9分55秒(12回

元)1時間9分25秒(13回

元)1時間8分55秒(14回

元)1時間8分25秒(15回

元)1時間7分55秒(16回

元)1時間7分25秒(17回

元)1時間6分55秒(18回

元)1時間6分25秒(19回

元)1時間5分55秒(20回

元)1時間5分25秒(21回

元)1時間4分55秒(22回

元)1時間4分25秒(23回

元)1時間3分55秒(24回

元)1時間3分25秒(25回

元)1時間2分55秒(26回

元)1時間2分25秒(27回

元)1時間1分55秒(28回

元)1時間1分25秒(29回

元)1時間5分55秒(30回

元)1時間5分25秒(31回

元)1時間5分5秒(32回

元)1時間5分25秒(33回

元)1時間5分5秒(34回

元)1時間4分55秒(35回

元)1時間4分25秒(36回

元)1時間3分55秒(37回

元)1時間3分25秒(38回

元)1時間2分55秒(39回

元)1時間2分25秒(40回

元)1時間1分55秒(41回

元)1時間1分25秒(42回

元)1時間5分55秒(43回

元)1時間5分25秒(44回

元)1時間5分5秒(45回

元)1時間5分25秒(46回

元)1時間5分5秒(47回

元)1時間5分25秒(48回

元)1時間5分5秒(49回

元)1時間5分25秒(50回

元)1時間5分5秒(51回

元)1時間5分25秒(52回

元)1時間5分5秒(53回

元)1時間5分25秒(54回

元)1時間5分5秒(55回

元)1時間5分25秒(56回

元)1時間5分5秒(57回

元)1時間5分25秒(58回

元)1時間5分5秒(59回

元)1時間5分25秒(60回

元)1時間5分5秒(61回

元)1時間5分25秒(62回